

写真⑨ 宮田高架橋(宮田工区)(二七三町)



写真⑩ 静狩路盤(長万部町)



写真⑪ 栄原高架橋(長万部町)



写真⑫ 平里高架橋(長万部町)



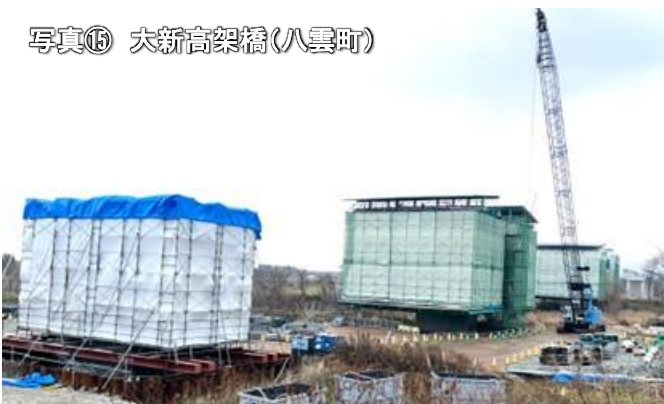
写真⑬ 長万部駅高架橋(長万部町)



写真⑭ 新八雲(仮称)駅高架橋(八雲町)



写真⑮ 大新高架橋(八雲町)



写真⑯ 市渡高架橋(北斗市)

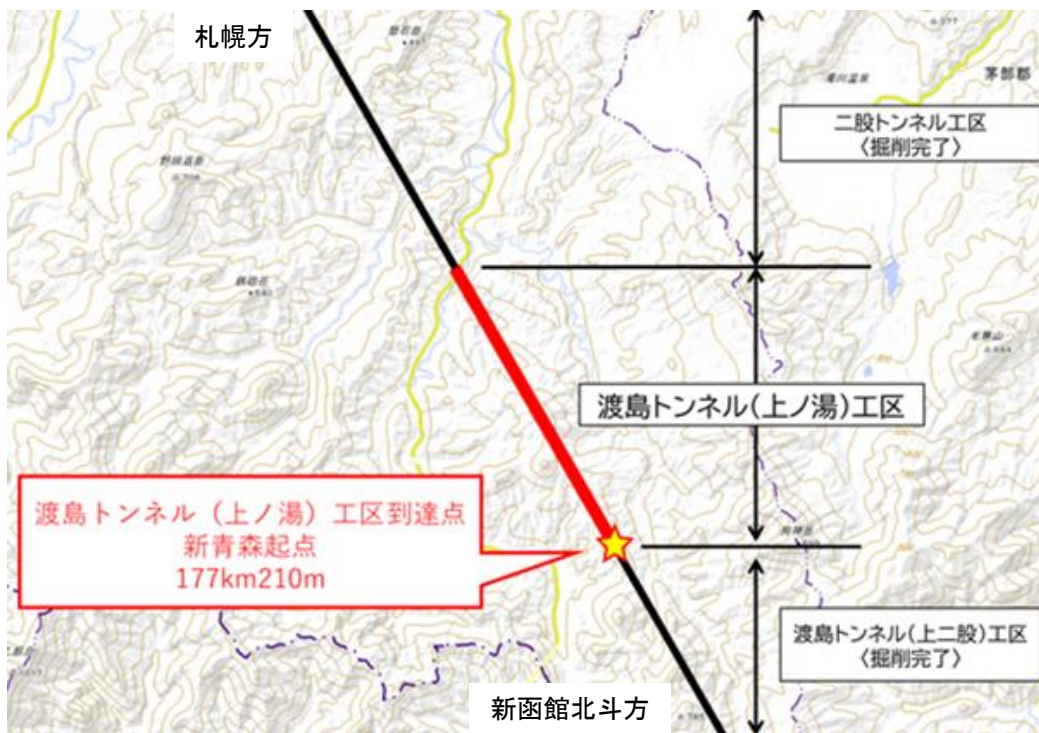


撮影位置図



渡島トンネル（上ノ湯）の掘削完了（令和7年11月4日）

- 北斗市、厚沢部町、八雲町を繋ぐ渡島トンネル(全長32,715m)は、7工区(村山工区、台場山工区、天狗工区、南鶉工区、北鶉工区、上二股工区、上ノ湯工区)に分割して施工。
- 上ノ湯工区は、令和2年1月に新函館北斗方に向かって掘削を開始し、令和7年11月4日に掘削が完了し、上ノ湯工区と上二股工区がつながった。
- 引き続きトンネルを保護するコンクリートや車両が走行する路盤コンクリートの施工を進めていく予定。



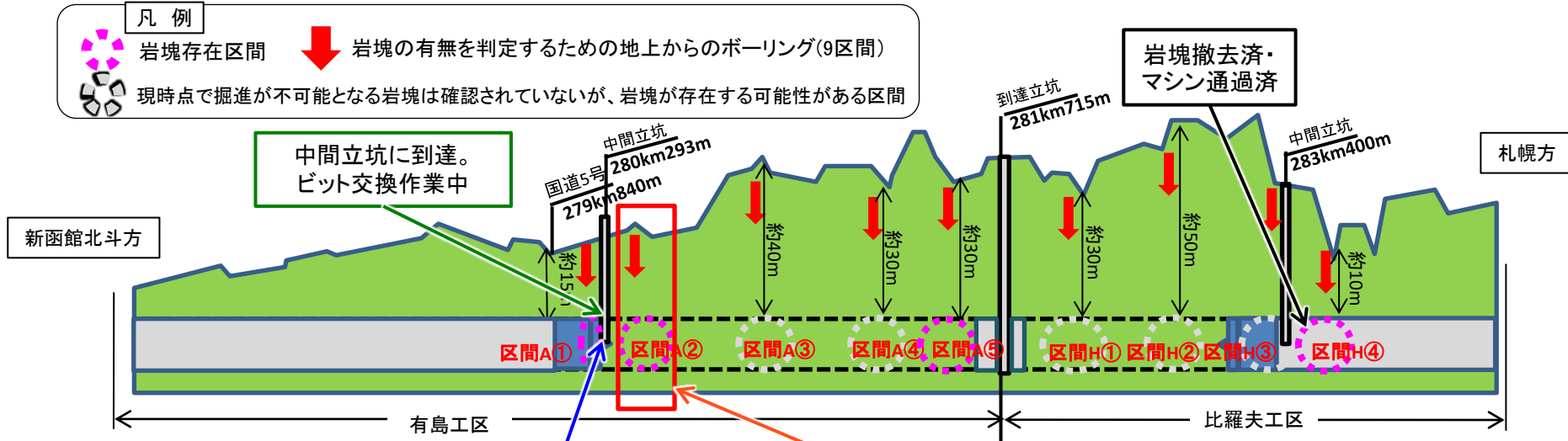
【国土地理院地図を基に作成】



掘削完了地点の状況

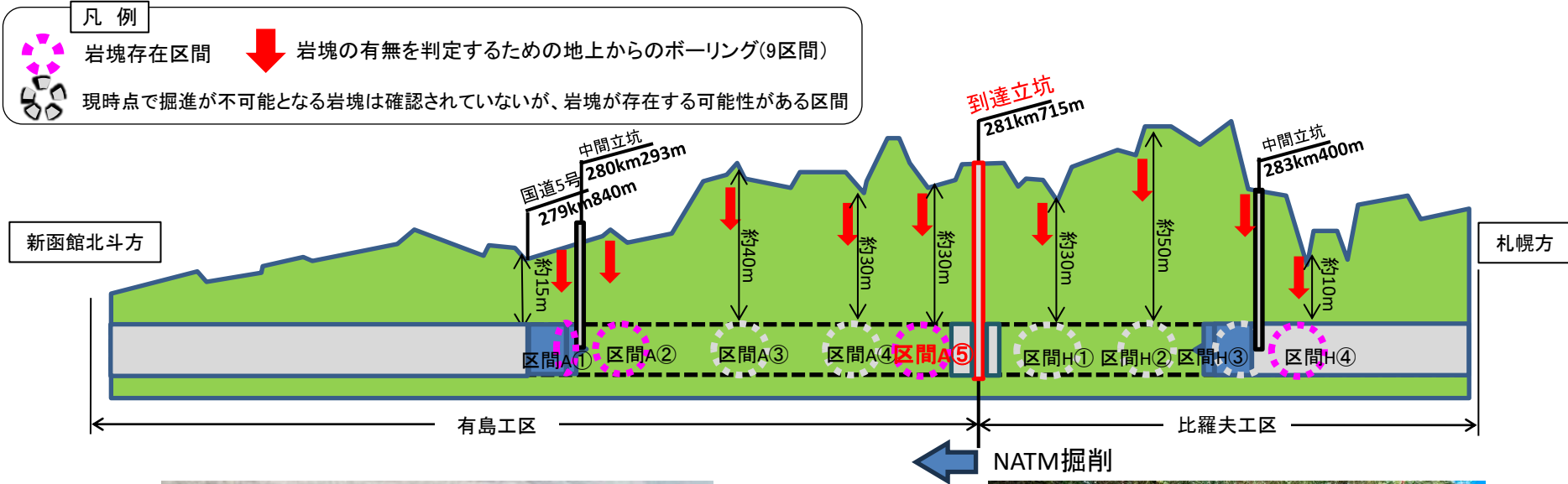
岩塊撤去の進捗状況(羊蹄トンネル)

- 令和4年度に実施した弾性波探査の結果、9箇所で掘進に影響する可能性のある岩塊の存在を確認。(図中の区間A①～H④)
- 区間A①では、掘進停止の原因となった岩塊を撤去し、シールドマシンが7月1日に中間立坑に到達。ビット交換作業中。
- 令和4～5年度の地上からのボーリング調査の結果、区間A②、A⑤、H④において、シールドマシンによる掘進が停止するおそれがある岩塊の存在を確認。このうち、区間A②の岩塊は、令和6年5月より地上から撤去中(令和7年6月より撤去範囲を拡大しており、令和7年11月30日時点で209本の撤去完了)。到達立坑において比羅夫工区のシールドマシン到達に備えた準備を今後着手するため、区間A⑤の岩塊撤去を一旦終了。
- 残りの区間では、地上からのボーリング調査の結果では、シールドマシンによる掘進が不可能となる岩塊は未確認。



羊蹄トンネル(有島)工区の岩塊撤去状況【区間A⑤】

- 岩塊が存在すると想定してる区間A⑤における岩塊撤去について、令和7年2月より到達立坑よりNATM掘削を開始。
- NATM掘削が所定の位置に到達したため、今後掘削する区間に岩塊が存在するか確認するための水平ボーリングを実施した結果、現在の切羽面から近い位置で岩塊の存在を確認。
- 到達立坑において比羅夫工区のシールドマシン到達に備えた準備を今後着手するため、区間A⑤の岩塊撤去を一旦終了。



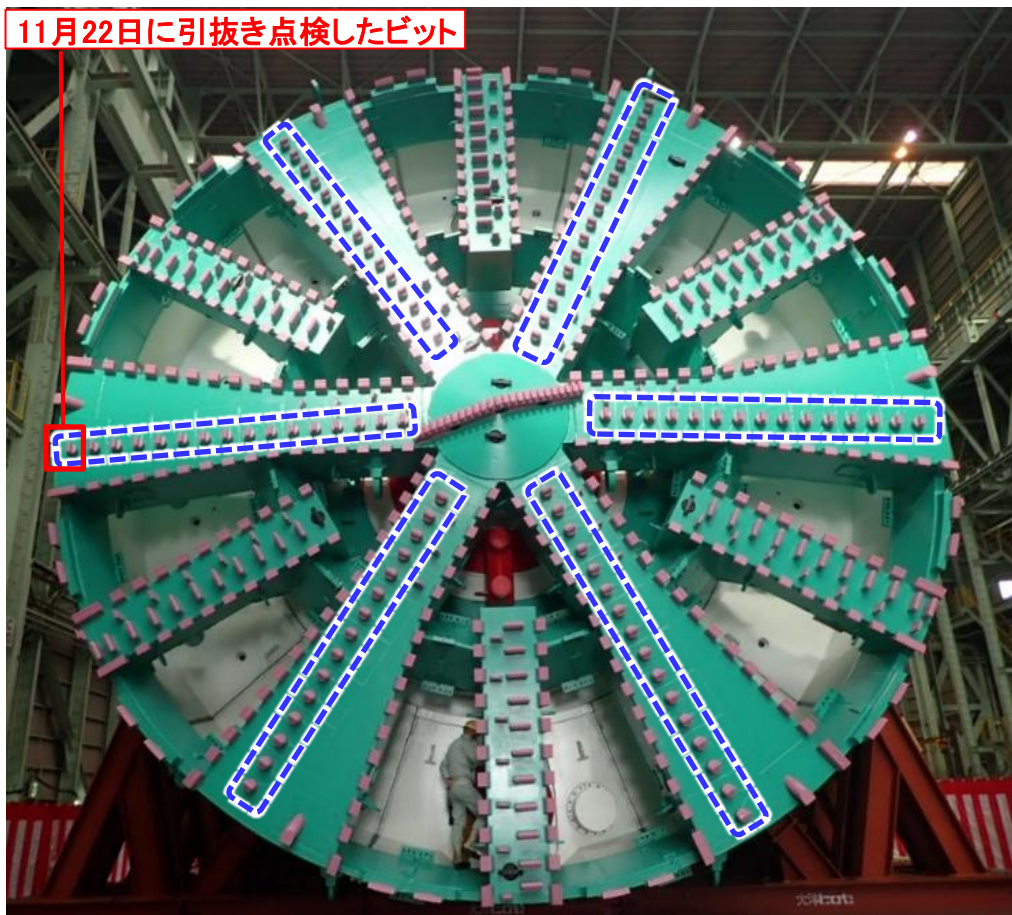
到達立坑ヤード全景



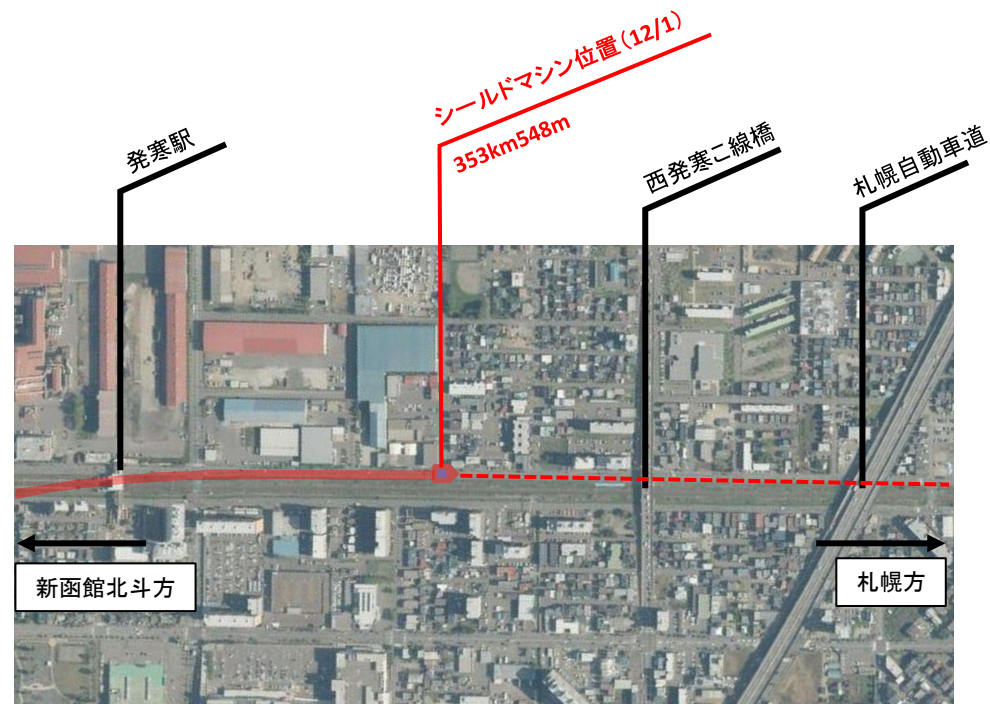
出現した岩塊の一部

- 令和7年11月22日に交換式先行ビットの引抜き点検を実施したところ、想定以上の摩耗を確認。
- その他の交換式先行ビットの摩耗状況を確認する必要が生じたため、掘進を停止。
- 令和7年12月1日より、その他の交換式先行ビットについて引抜き点検を開始。
点検結果の摩耗量に応じて交換式先行ビットの交換も実施中。

11月22日に引抜き点検したビット



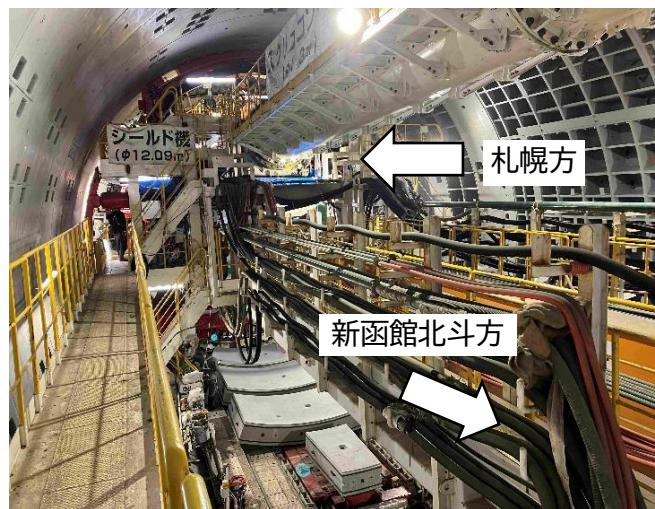
 : 交換式先行ビット



国土地理院の航空写真測量を加工して作成

シールドトンネルの進捗状況(札幌トンネル(札幌))

- 令和6年3月より札幌方の掘進を実施。令和7年12月1日時点で約1,550mを掘進完了。
- 今後も、JR函館本線をはじめとした重要構造物に近接しながら掘進を予定。



札幌方掘進の様子

